

「瓦版」



2024. April. 1
在仙台カンボジア王国名誉領事館

No.18

仙台二華高校では2013年度から北上川／東北地方を、2014年度からはそれに加えてメコン川／東南アジアをフィールドとした水問題について研究しています。今回、カンボジアを中心に仙台二華高校の活動をご紹介する機会を頂きましたので、7回のシリーズで仙台二華高校の活動を紹介させていただきます。1回目の今回は、仙台二華高校がカンボジアの水問題解決のための活動を始めるきっかけについて御紹介いたします。

～なぜ水問題か～

「約6億人以上が改善された水源を利用できない」、「約2.4億人が衛生的なトイレを利用できない」、「毎日5歳以下の子供800人が下痢性疾患で命を失っている」(国連 ミレニアム開発目標2015)
「現在のペースで水の消費が続けば2030年には世界で必要な水資源の40%が不足する」(国連世界水開発報告書2015)

私たちが日常何気なくふんだんに使っている水が、世界ではこんなに危機的な状況になっていると知って衝撃を受けました。また調べれば調べるほど、水の問題はその土地特有の問題でもあり、その土地特有な問題が世界中にあることをが分かってきました。

きれいな飲み水が足りない、衛生的なトイレがない、汚染された水を使わざるを得ない、洪水や豪雨などの災害の深刻化、水資源をめぐる紛争、これらの水問題は水問題として単独に存在するわけではなく、人口の増加や貧富の格差、都市化や人々の豊かさの増加、開発による水資源の破壊、地球温暖化などの環境の変化といった現代世界が抱える多くの問題と密接にかかわっていることに気づきました。

～仙台二華メコン川フィールドワークの流儀～

第1回目の現地調査(仙台二華高校ではメコン川フィールドワークと言います)は2014年夏にタイ、カンボジアで行われました。事前に現地に応じた問題があるのかを調べ、どのような解決策があるかを考えて訪問しました。その一つに、「カンボジアの乳児死亡率が日本に比べて著しく高い」というものがありました。乳児死亡率とは、満1歳になる日までに死亡する出生数1000人あたりの人数です。ちなみに乳児死亡率は、日本が2に対してカンボジアでは21(2021年)となっています。

シエムリアップ郊外の農村を訪問し「乳児死亡率が高くて大変ですね」というようなことを現地の住民に話したところ、「そんなことで困っていない。乳児死亡率が高いなんてことはあなたたちが来て初めて知った。」という趣旨のことを言われました。私たちが日本という非常にリッチ



トンレサップ湖水上集落でのインビュー



シエムリアップ郊外の農村アンコールクラウ村での井戸の調査

な国から来たお気楽な観光客であることを思い知らされたのです。

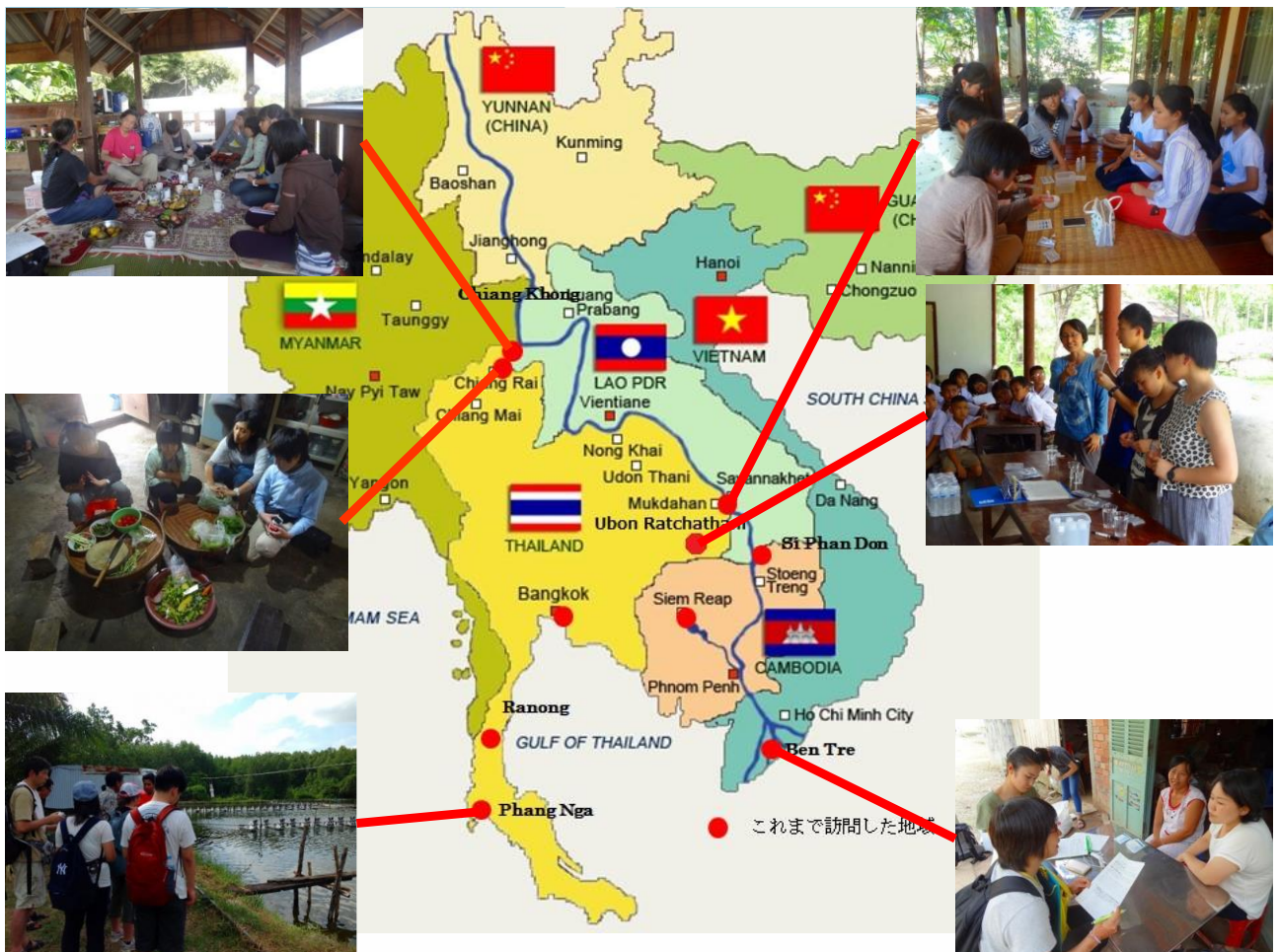
炎天下、足を棒のようにして歩きまわり、何十件を調査をしてもなかなか本音を話してもらえず、無難な回答しかもらえなかった日々が続きました。しかしあるとき、同じコミュニティを何度も訪ねていたからか、だんだん住民の私たちに対する様子も変わってきたのです。トンレサップ湖の水上家屋に通い続けて4回目、「なんでそんなに一生懸命やってるんだい？」という趣旨の質問をされ、たどたどしいながらも生徒が自分たちの言葉で「皆さんのこの困窮しているように見える生活を少しでも何とかしてあげたいんです」と誠意をもって話したところ、水上家屋に住むことになった経緯を話してくれた後に「やっぱり陸の上に住みたいよ」という生の言葉を聞くことができました。

これ以降、特定のコミュニティに通い続け、そこに住んでいる人たちにじっくり話を聞き、一緒に課題を見つけ一緒に解決策を考えるという仙台二華高校のフィールドワークの流儀が生まれました。これにより生徒にとっても、単なる課題研究のテーマだったものが、「トンレサップ湖の〇〇さんのための△△という水問題の解決」という共感型のテーマになり、放課後や夏休みもせつせと実験室に足を運んで解決策模索のために頑張るようになりました。このような活動を続けて10年、メコン川フィールドワークも15回を数えるほどになりました。

～次回以降の予告～

次回以降は、このメコン川フィールドワークにおいて実際に現地で見つけた課題をもとに解決のために住民と一緒に試行錯誤している生徒の活動を紹介していきます。

メコン川フィールドワークでこれまで訪問した地域



みちのく
陸奥あれこれ...

ARAIWA HONTEN 荒岩本店

仙台市青葉区中央 2-6-10

022-222-5466

<https://www.araiwa.jp>

仙台の中心商店街、クリスロードにある
生活雑貨のお店 『荒岩本店』

じつは、創業は明治 20 年（1887 年）。

今年 137 年目を迎えました。

仙台七夕でも有名な商店街でもあります。

初代は仙台の南、岩沼出身の荒井岩之助で、

「荒岩」の名前の由来になっています。



当初は小間物雑貨の卸売業をしていました。その後代のニーズを先取りし、荒物・金物から生活雑貨・キャラクター商品・衣料品と取り扱い商品は変化して、業態も卸・小売業に変わりました。



店舗も荒岩本店ビルになり、ハワイのパンケーキ専門店

『エッグスシングス』や、『小さな街の食堂・ミスティ』

など、行列の出来るテナントが入り、賑わっています。

ビル 2 階奥で、リフレクソロジーサロン 『クアハート』
を営業。

身体と心のリフレッシュに役立てて頂けたらと 25 年前
に開業しました。



時代は流れても、いつもお客様の『いきいきライフ』のお手伝いができる、笑顔あふれるお店でありたいと思います。

クリスロードにお出かけの時、ぜひちょっとのぞいてみてください。